

はじめに

2013年に『Linuxシステム[実践]入門』(技術評論社刊)を出版しました。それは、Linuxをインストールし終わった人が、Linuxシステムにどう向き合うかを示した実験的な書籍です。それに加えてもう1つ、実験的に数点のマンガを挿入していました。

そのマンガが当時のSoftwareDesign編集長である池本さんの目に留まり、「SDでマンガ連載しませんか？」と、X(当時「Twitter」)でお誘いを受けることになります。

「私のマンガが、マンガ誌じゃなくて技術誌の編集の目に留まってしまった。これはチャンスなのか？この誘いは……もしかして釣りか？」と疑いました。

実は中学生の時にマンガ家の夢を持ち、某雑誌の佳作に入って1ページだけ紹介された程度の経験はありましたが、その夢はとうに捨てた私。「釣られ上等」と覚悟し返信したらその後、本当に連載が始まってしまいました。

日進月歩のIT業界でマンガの連載、しがないインフラエンジニアの私に何ができるのか。

読者を楽しませることができただろうか。連載を続けるなんてできただろうか。不安になりましたが、「怒られたら連載終了すればいい。それまでは好き勝手やろう」でした。Linuxを扱った1ページのギャグマンガにすることを決めます。

そして10年の間、描きたいことばかり自由に描かせてもらいました。

おかげさまで、特にネットでの炎上に繋がるようなことにならず、苦情の投書が来ることもなかったようです。そして、この単行本ができました。

この本で、皆様のLinuxライフがさらなる充実したものになることが私の願いですが、保証するものではありません。ご了承ください。

2024年10月
くつなりようすけ

もくじ

はじめに

第1章

天地開闢

2014年

- ▼ 第1回 OMM killer
- ▼ 第2回 さてはコマンド使いだな！
- ▼ 第3回 幸せを運ぶコマンド
- ▼ 第4回 ハリセンポリマーひしがた先輩
- ▼ 第5回 モヒカン先輩
- ▼ 第6回 ターミナルマルチプレクサの落とし穴
- ▼ 第7回 コマンドヒストリに時を刻め
- ▼ 第8回 ejectコマンド
- ▼ 第9回 パスワード管理
- ▼ 第10回 コマンド古今東西
- ▼ 第11回 cronの罠

022 020 018 016 014 012 010 008 006 004 002 001

ii

第2章

生流転

2015年

- ▼ 第12回 連載1周年記念！ 「Linux業界振り返り」
 - ▼ 2015年1月号特別付録 I Tエンジニア出世双六
 - ▼ 特別挿絵 I Tエンジニアの日常①
 - ▼ 第13回 瞬きもせずに
 - ▼ 第14回 地球危機一髪
 - ▼ 第15回 「いつかはオレも老害」 「子供に使われないために」
 - ▼ 第16回 新人教育もてえへんだあ
 - ▼ 第17回 断捨離無情
 - ▼ 第18回 デラシネ君
 - ▼ 第19回 ライフログ
 - ▼ 第20回 妖怪のせいなのね
 - ▼ 第21回 流れゆく業界
 - ▼ 第22回 オプシヨンの魅力
 - ▼ 第23回 数字が見える！
- 050 048 046 044 042 040 038 036 034 032 030 029 028 026 024

第3章

春風しゅんぷう駢たい蕩とう

2016年

- ▼ 第24回 エリート語
- ▼ 第25回 ホカン
- ▼ 第26回 シグ松さん
- ▼ 第27回 宮田さん
- ▼ 第28回 宇はやつぱり
- ▼ 第29回 デフォルト至上主義
- ▼ 第30回 圧縮ファイルあれこれ
- ▼ 第31回 モジュールを読み込むように進化したい
- ▼ 第32回 大容量サイズのディレクトリを分割する
- ▼ 第33回 犯人は誰だ!?
- ▼ 第34回 天国と地獄

052

055

056

058

060

062

064

066

068

070

072

074

076

第4章

蕩とう佚いつ簡かん易い

2017年

- ▼ 第35回 初悪夢
- ▼ 第36回 コマンド名の由来
- ▼ 第37回 ラッキーナンバー？
- ▼ 第38回 ねんどまつ
- ▼ 第39回 黒い画面は仕事中？
- ▼ 第40回 困ったとき
- ▼ 第41回 2段階認証
- ▼ 第42回 新人配属キタコレ
- ▼ 第43回 キーワードは“宿題”
- ▼ 第44回 りなてえびつく(Linux Team EPIC)
- ▼ 第45回 wall de talk
- ▼ 第46回 ほしいデーモン
- ▼ 特別挿絵 ITエンジニアの日常②

104 102 100 098 096 094 092 090 088 086 084 082 080 079

第5章

慎始敬終

2018年

- ▼ 第47回 スマートスピーカーでコマンド入力
- ▼ 第48回 年度末症候群
- ▼ 第49回 もしかしていれかw
- ▼ 第50回 ロボットと私ー成り上がれIT業界！
- ▼ 没ネタ復活！「その1」 フォネティックコード
- ▼ 第51回 転生したらプロセスになってた
- ▼ 第52回 転生したらキーになってた
- ▼ 第53回 仕事のBGMは何ですか？
- ▼ 第54回 バックグラウンド
- ▼ 第55回 次世代コミュニケーションツール
- ▼ 第56回 ゴミ箱
- ▼ 第57回 1分が待てない
- ▼ 第58回 定期検診大事！絶対！
- ▼ 第59回 Dateワークショップタイムマシンにお願い！

132 130 128 126 124 122 120 118 116 115 112 110 108 106 105

第 6 章

安居楽業

あん きょ らく ぎょう

2019年

▼ 没ネタ復活！「その2」 PC組立職人

▼ 第60回 気軽にポイっ

▼ 第61回 対決！プログラミング少年団！

▼ 第62回 パーミッション！

▼ 第63回 分析新人！

▼ 第64回 リモートで実行させて

▼ 特別挿絵 ITエンジニアの日常③

▼ 第65回 悟りました

▼ 第66回 「なんとか

▼ 第67回 妖怪なにもしてないのに

▼ 第68回 後ろに誰か

▼ 第69回 一長一短

▼ 第70回 スリープラーニング

▼ 第71回 Man茶羅

160 158 156 154 152 150 148 147 146 144 142 140 138 136 135

第7章

泰然自若^{たいぜんじやく}

2020年

- ▼ 第72回 HDDの処分
- ▼ 第73回 クラウド嫌いおじさん
- ▼ 第74回 新人研修
- ▼ 第75回 Webミーティング
- ▼ 第76回 SSHを使えない人がいてね
- ▼ 第77回 叩けば直る
- ▼ 第78回 20年後
- ▼ 第79回 Verboseモード
- ▼ 第80回 クイズの時間
- ▼ 第81回 アントニオ
- ▼ 第82回 年末行事
- ▼ 第83回 名探偵菱形

186 184 182 180 178 176 174 172 170 168 166 164 163

第 8 章

豪放磊落

2021年

- ▼ 第 84 回 筋トレ
- ▼ 第 85 回 違いのわかる人
- ▼ 第 86 回 リクエスト
- ▼ 第 87 回 「Linux」ゲーム
- ▼ 第 88 回 気になるあいつ
- ▼ 第 89 回 姿勢
- ▼ 第 90 回 ほめて伸ばす
- ▼ 第 91 回 「Linux」はともだち
- ▼ 第 92 回 1T 戦士
- ▼ 第 93 回 リソース確保早すぎいいい
- ▼ 第 94 回 コピペ人間
- ▼ 第 95 回 ゾンビだけ溢れた世界で俺だけ `Enter` を押せない

212 210 208 206 204 202 200 198 196 194 192 190 189

第9章

魑魅魍魎

2022年

- ▼ 第96回 ゴルゴB
- ▼ 第97回 100日後にカーネルパニックするLinux
- ▼ 第98回 リモートワーク警察
- ▼ 第99回 障害訓練
- ▼ 第100回 SDGsの真実
- ▼ 没ネタ復活!「その3」 未来の入力デバイス
- ▼ 第101回 エクセル無情
- ▼ 第102回 エレガント
- ▼ 第103回 つながらない
- ▼ 第104回 エラー処理
- ▼ 第105回 陰謀論
- ▼ 第106回 現地へゴー
- ▼ 第107回 オヤツ駆動解決
- ▼ 没ネタ復活!「その4」 USB紛失対策
- ▼ 第108回 酔拳
- ▼ 第109回 A-テキスト自動生成

246 244 243 240 238 236 234 232 230 228 227 224 222 220 218 216 215

▼ 特別挿絵 I Tエンジニアの日常④

第10章

疾風怒涛

2023年

- ▼ 第110回 パッケージ管理
- ▼ 第111回 選択
- ▼ 第112回 童話
- ▼ 第113回 *キング
- ▼ 第114回 コマンド名が長い
- ▼ 第115回 簡単詐欺
- ▼ 第116回 アイドル
- ▼ 第117回 なぞなぞ
- ▼ 第118回 大丈夫
- ▼ 第119回 初笑い
- ▼ 没ネタ復活「その5」 問い合わせ
- ▼ 第120回 Fワード

おわりに

275 272 271 268 266 264 262 260 258 256 254 252 250 249 248

●免責
本書に記載された内容は、情報の提供だけを目的としています。したがって、本書を用いた運用は、必ずお客様自身の責任と判断によって行ってください。これらの情報の運用の結果について、技術評論社および著者はいかなる責任も負いません。本書記載の情報は、2024年10月現在のものを掲載していますので、ご利用時には、変更されている場合もあります。また、ソフトウェアに関する記述は、特に断わりのないかぎり、2024年10月現在のバージョンをもとにしています。ソフトウェアはバージョンアップされる場合があり、本書での説明とは機能内容や画面図などが異なってしまうこともあり得ます。本書ご購入の前に、必ずバージョン番号をご確認ください。以上の注意事項をご承諾いただいたうえで、本書をご利用願います。これらの注意事項をお読みいただく前に、お問い合わせいただいても、技術評論社および著者は対処しかねます。あらかじめ、ご承知おきください。

●商標、登録商標について
・本書に登場する製品名などは、一般に各社の登録商標または商標です。なお、本文中に™、®などのマークは特に記載しておりません。